



Shikoku
Cancer Center News
No.54

四国がんセンター ニュース



2016

1

JANUARY

基本理念 患者の立場にたち人格を尊重し、科学と信頼に基づいた最良のがん医療を提供します。



(西予市宇和町 撮影:後野(健治))

謹賀新年



皆さまあけましておめでとうございます。

昨年は、毎年のことではあります。いろいろな事件がありましたね。日本では、特に、国民の信頼を裏切る行為が目立ったように思います。建築のくい打ちのデータ偽装、有機肥料の配合偽装なんか最たるものですね。いずれも、かなり以前より行われていたようです。信頼を裏切るものとしては、私たちの医療の分野でも、群馬大学の腹腔鏡下手術や神戸における生体肝移植での高い死亡率が問題になりましたね。

私たち四国がんセンターでは、院長以下全職員が常に気を配って安全・安心な医療の提供に努めています。生体を扱う以上、残念ながら100%安全とすることはできません。が、毎週、全職種から委員を募って医療安全に関する会議を開いていますし、手術をはじめとした治療の前には、必ず診療科ごとに複数の目をとした検討会があります。また、治療のあとにも報告の場を持っています。月に一回ではありませんが、病院幹部による医療安全に関する報告・検討会を開いています。治療上におこったインシデント、アクシデントの際には院長にも一報が入ります。内容

によっては、臨時の会議を開くこともあります。前述した二つの施設にはこのようなチェック機能が欠けていたようですね。

さて、ご存じのように、昨年、高島屋ローズホールで院外へ向けてのがん医療に関する講演会を開いています。年3回の予定で定期的に各診療科ごとの診療の現況をお知らせしていこうと考えています。最新の治療に関する話題もお話しています。今や、二人に一人ががんにになると言われていますが、治る人の方が多いのです。それにはがんの早い段階で見つけることが一番です。いたずらに怖がるだけでは袋小路に入ってしまう。正しい知識・知恵をつけていただくために職員がボランティアで開く会です。このことに関して第4面で野上第二病棟部長が詳しく述べています。

他にも、自治体からの依頼をいただいて、松山市、今治市、西条市、大洲市、東温市などへ出向いて、がんに関する講演をしています。内容は様々ですが、緩和ケアや心のケアに関する依頼が多いですね。1

昨年からは、小学生から高校生まで、子供たちへのがん教育も始めました。

これとは別に、患者さんを紹介して下さるかかりつけ医の先生方とも、交流を図っています。紹介医の方々とは、FAXや電話などでの連絡が多く、直接会ってお話しをする機会がなかなかありません。医師会の場合もありますが、診療が忙しくなかなかなることのできないのが現状でした。そこで、会場を借りて、紹介して下さる先生方をお招きし、当方の診療科ごとの状況をお話しし、そのあと、懇談会を設けて、お互いの顔の見える、また、キャラクターもわかっているだけの会を設けることにしています。昨年は、松山市と今治市で交流会を設けました。

今年も様々な試みをして、がんと言う名の敵に立ち向かって行きますので、皆様のご理解とご支援をおねがいします。



(院長 栗田 啓)

四国がんセンターの理念

患者の立場にたち人格を尊重し、科学と信頼に基づいた最良のがん医療を提供します。

■基本方針

- ①患者の権利と尊厳を守る診療・看護を実践します。
- ②がん基幹医療施設として全国及び地域の医療施設と連携した最新の医療を実施します。
- ③がん克服に向けた予防・診断・治療の研究を推進します。
- ④最新のがん医療の普及を目指した教育・研修を実践します。
- ⑤がんに関する医療情報の収集と国内外への発信に努めます。
- ⑥健全な病院運営、継続的な意識改革により患者の視点にたったサービスに努めます。

看護部の理念

私たちは専門職としての誇りと責任をもち、がんと共に生きる人を支える最良のがん看護を提供します。

■基本方針

- ①患者のQOL向上をめざした看護を実践します。
- ②がん看護の専門家として、チーム医療に参画します。
- ③がんとともに生きる人をサポートするシステムをつくります。
- ④専門職として研鑽を重ね、がん看護の指導的役割を担います。
- ⑤患者サービスの向上に向け病院運営に参画します。

患者の権利とお願い

■患者の権利

- ①良質かつ適切な医療を受ける権利
個人の人格が尊重され、科学と信頼に基づいた診療を受けることができます。
- ②「説明と納得」のもとに医療を選択する権利
病状や治療法に関する情報の提供と納得いく説明を受け、検査・治療法について自ら選択あるいは拒否することができます。
- ③自己の診療記録に関する情報開示を求める権利
自己の診療記録の情報開示を求めることができます。
- ④個人情報保護される権利
診療上得られた患者及び家族の個人情報は、法律上あるいは治療上の正当な事由のある場合を除き厳正に保護されます。
- ⑤セカンドオピニオン制度を利用する権利
主治医より受けた診断、治療方法について他の医療機関の専門家に意見を求めることができます。

■お願い

- ①自己の病状や健康に関する正確な情報を医療従事者にお伝えください。
- ②よりよい療養環境を維持するために病院の規則ならびに医療従事者からの指示をお守りください。厳守されない場合には診療や療養を継続することができなくなることがあります。
- ③患者さんの間でも、お互いの立場やプライバシーを尊重してください。
- ④あらゆる危険を回避するために事故防止にご協力ください。
- ⑤がん医療の発展のために当院での臨床研究・教育・研修にご協力ください。
- ⑥当院は独立採算制をとっています。病院の運営維持のために診療費は確実にお支払いください。

年男 年女 四国がんセンター 2016年の

抱負



明けましておめでとうございませう。さて、私事ですが昨年の秋から健康のために週に一回片道約九㎞を自転車通勤しています。ドイツには「トラック一杯の葉より自転車」ということわざがあるようです。熱しやすく冷めやすい私ではありますが、二〇一六年仕事もプライベートも頑張れるよう自転車通勤を続けていこうと思います。

皆様本年もよろしくお願ひ致します。

臨床検査技師 田母神 佐智子



明けましておめでとうございませう。二〇一三年四月から病棟クランクとして勤務しており、三年目も過ぎようとしております。今年はお一回目の年女です。日々忙しい看護士さんにパワーをもらいながら、今年も病院中を動き回り、健康でより良い年にしたいと思います。

皆様にとりましてより良い年でありませうように。本年もよろしくお願ひ致します。

病棟クランク 中西 和代



皆様、あけましておめでとうございませう。消化器内科、内視鏡科の振です。二〇〇五年八月より、四国がんセンターで勤務をしています。松山にきて十年が過ぎ、一回目の年男を迎え、また、(？の部分は秘密です)？十一回の年男を迎えるまで、全力でがんばりたいと思ひます。今後ともよろしくお願ひいたします。

内視鏡科医長 堀 伸一郎



新年明けましておめでとうございませう。今年四度目の年男を迎え、早いもので入職して二十五回目の新年を迎えることとなりました。昨年四月の異動により、人生初の四国での勤務となり、慣れる間もなくあわただしい月日が経過しています。「笑顔もなくなり、仕事を趣味に頑張りたい」と思ひます。今年もどうぞよろしくお願ひいたします。

副薬剤部長 横 恒雄



新年あけましておめでとうございませう。昨年引越したこともあり、何かとバタバタした二年でした。今年も色々あると思いますが、また年後に振り返って楽しかったと思えるように、「一日一日を大切に過ごしたい」と思ひます。

笑顔忘れず、元気に頑張りますので、今年もどうぞよろしくお願ひいたします。

歯科衛生士 前田 泰水



新年明けましておめでとうございませう。毎年、今年も飛躍の年になりそうです。しかし飛躍とまではなかなか難しく、実際には、歩み前に進んでいる感じがします。本年も確実に一歩前進するために、例年同様今年も飛躍の年にしてほしいと思ひます。

本年もどうぞ宜しくお願ひ申し上げます。

形成外科医師 時吉 貴宏

新年あけましておめでとうございませう。年女といわれても今まではあまり気にしていませんでしたが、十一年の年女年男が多くそれぞれ活躍されています。私も皆さんに負けぬように新たな気持ちで頑張りたいと思ひます。今年もよろしくお願ひいたします。

副看護部長 福本 理江



11月21日(土)・22日(日)の2日間にわたって「愛媛県がんのリハビリテーション研修」を、当院本館研修室、新館研修室および暖だんのミーティングルームを使用して開催しました。平成22年度診療報酬改定で、がん患者リハビリテーション料が新設され、算定要件として、リハビリスタッフおよび医師が、がんのリハビリテーション研修会を修了することが必須とされています。これまで、がんのリハビリテーション研修会は一般財団法人ライフ・プランニング・センターが主催で開催されていましたが、希望受講者の増加に伴い、各都道府県でも同等の研修会を開催できるシステムが構築されました。この研修会を修了することで、「がん患者リハビリテーション料」に関する施設基準のうち、適切な研修の要件を満たすことになります。四国では学会主催の形式を除いて初の開催となりました。今回の企画・開催は、松山

リハビリテーション病院院長の木戸保秀先生の愛媛県での開催についての強いご要望と、また実行委員長を当院院長と共催の形で引き受けていただいたことで実現いたしました。参加施設は愛媛県内10施設、県外10施設で、合計人数115名の規模で開催されました。1日目は朝9時から午後7時まで、2日目は朝9時から午後3時半までグループワークを含めて行われ、長丁場にも関わらず、皆さん最後まで熱心に参加されておられました。がんのリハビリでは骨にがんが転移していても、可能な動作を患者さんと一緒に考えながら行っていくのですが、がんのリハビリ導入前はこのようなケースではリハビリは禁忌とされていました。またリハビリの教育現場でも、現状ではがんについて学ぶカリキュラムが十分整っていません。主な講義の内容は、周術期(あらゆるがん種について)、進行期、緩和期の各々ステージごとのリハビリ、化学療法や放射線療法中のリハビリ、心のケアとリハビリ、摂食嚥下のリハビリ、口腔ケア、リハビリにおける看護師の役割についてで、院内、院外から招聘した専門スタッフにより講義が行われました。今回は第1回の開催で不慣れな点など反省点はありましたが、研修後のアンケートでは大方満足できたとの回答をいただきました。次回開催日程は今のところ未定ですが、その折には是非愛媛県内施設の御参加をお待ちしておりますので、ご検討宜しくお願い申し上げます。

(整形外科医長 杉原 進介)



がん治療 最前線 がん登録

1月1日、ついに『がん登録推進法』が施行されました。新しく国家事業として行われる『全国がん登録』と、『院内がん登録』に関する法律です。

がん登録では、発生した一つ一つのがんについて、患者さんの住所・生年月日やがんの発生部位や進行度、治療などが登録されます。

地域のがんの発生や生存率を把握するため、これまで県単位で『地域がん登録』が行われてきたのですが、法的な裏付けがないために、地域別の差を把握できるほどの情報が十分収集できませんでした。しかし、『全国がん登録』では全ての病院ががん登録に参加する義務を負います。それにより、全国各地の正確ながんの現状を把握した上での対策が行われるようになります。

一方、『院内がん登録』は、その施設内で診療したがんのデータベースです。全国がん登録が、地域のがんの状況を把握するものであるのに

対し、院内がん登録はその施設のがん診療を把握するためのものです。マスコミ等で話題になる施設別生存率などはこれを利用したものです。各施設で集計するのみならず、全国規模では国立がん情報センターが『院内がん登録全国集計』を、愛媛県ではがん診療連携協議会・がん登録専門部会が『がん登録で見る愛媛のがん診療』を毎年発行して、がん拠点病院の診療の状況を集計解析しています。

一般の方は、がん登録で個人情報が集められることに関して不安があるかもしれませんが、厳格なセキュリティーの規定と利用規則が設けられており、違法な使用には罰則があります。

四国がんセンターは、自院の院内がん登録をおこなうだけでなく、愛媛県の都道府県がん診療連携拠点病院としてがん登録の精度向上と利用のために活動しています。また、地域がん登録に引き続き、県から委託されて愛媛県の全国がん登録を担当します。個人情報に関する規則を守り、新法施行後の今後も、質のよいがん情報が愛媛県のがん診療の裏付けとなっていくよう活動していきます。

(病理科医長 寺本 典弘)



治験 CHIKEN CORNER 治験コーナー

ちけん

「当院では治験を実施しています」

●現在募集中の治験等情報

右記の件数は企業治験、医師主導治験、製造販売後臨床試験の「現在募集中の治験等情報」です。

(平成27年11月25日現在)

- 乳がん……………9件
- 胃がん……………6件
- 大腸がん……………2件
- 食道がん……………2件
- 隣がん……………2件
- 肝がん……………2件
- 肺がん……………15件
- 卵巣がん……………2件
- 子宮がん……………1件
- 固形がん……………2件
- 前立腺がん……………4件
- 尿路上皮がん……………1件
- 頭頸部がん……………1件
- 悪性中皮腫……………1件

こちらは、治験・臨床試験管理室です。このコーナーでは、ただ今、募集の治験等の情報を提供しています。なお、当院HPにて、詳細情報を公開中です。過去に紹介した治験等に関する質問と回答内容は、ホームページの当室コーナー(アドレスを参照)に掲載しています。(治験主任 峯本 譲)

ホームページアドレス

<http://www.shikoku-cc.go.jp/chiken/index.html>



がん化学療法看護認定看護師

2015年7月にがん化学療法看護認定看護師になりました。現在は通院治療室で勤務しており、患者さんが安全に治療を受けることができるよう支援を行っています。また、患者さんやそのご家族に副作用症状への対処方法や日常生活の過ごし方について説明したり、相談を受けたりしています。がん化学療法の看護は治療開始前から始まります。患者さんやそのご家族が納得して治療を選択するための意思決定支援や精神的側面への支援です。治療が始まると、根拠に基づいた副作用対策を行います。副作用には薬剤の種類によって特徴的な症状もあれば、患者さん個々によっても症状の感じ方が異なります。そのため看護師は訴

えに耳を傾け、その体験を理解しようと気持ちに寄り添うことが重要です。そして、どのように解決できるか様々な職種を巻き込んで話し合わなければなりません。この数年の間にかん化学療法を行う場合は病棟から外来・在宅へと移行しています。患者さんが副作用の予防、早期発見、対処を行いながら、治療と日常生活を両立できるよう支援していきたいと考えています。治療薬や医療技術の進歩は目覚ましく、日々の業務や学習に追われてばかりですが、患者さんや医療スタッフとの関わりの中でたくさんのごことを学びながら認定看護師として成長していきたいと思ひます。みなさま、どうぞよろしくお願ひします。

(がん化学療法認定看護師 久保 知之)



患者さんの疾患を考慮し、季節感をだすために「あ〜でもない、こ〜でもない」と知恵をしばりながら開催に至っています。

これからも少しずつですが、さらに病棟拡大を行っていきますので、その際は気分転換をかねてご参加ください。

デザートで癒されて…皆さまにとってよい年になりますように。
※食種により参加していただくことができない場合がございますのでご了承ください。

(栄養管理室長 河内 啓子)



あけましておめでとうございます。

これまで一部の病棟で開催していましたが「デザートバイキング」を他の病棟でも開催できないか…検討を続けてきました。

今年度に入り、病棟の協力をいただきながら、ようやく他の2病棟での開催にこぎつけました。

がんセンターだより

四国がんセンターフォーラム



『がん』という病気は日本人にとって本当に身近な病気になっており、親類・家族に『がん』に罹患されたことがある方が必ずといっていいほどおられるのではないかと思います。その一方で、その原因や予防法なども含め、意外と知られていないのが現状ではないか、とも思われます。四国がんセンターでは、『がん』という病気をより詳しく県民の皆様を知っていただくために、本年から伊予鉄高島屋ローズホールで年3回『四国がんセンターフォーラム』を開催しています。本年は第一回で、『がん』という病気についての総論、最近増えている乳がん、前立腺がんについて、第二

回では消化器がん、婦人科がん、リンパ浮腫について、また第三回には頭頸部がん、肺がん、放射線治療について、各領域の専門家の先生に幅広い解説を分かりやすくお話ししていただきました。さらに四国がんセンターがいかに地域のがん診療や世界のがん研究に貢献しているかについても、「四国がんセンターの実力」と題してお知らせいたしました。また、各疾患の説明だけでなく、御来場の方々の健康に関する質問に各専門医がお答えする『よろず相談コーナー』も大変好評で、数多くのご質問に対応させていただいています。

四国がんセンターフォーラムは今後も年3回で継続して行っていく予定です。今後のフォーラムで取り上げていくテーマにつきまして、御要望等がございましたら、是非お知らせください。

(第二病棟部長 野上 尚之)



お世話になって医ます

小国皮フ科医院
友愛医院

四国がんセンターは、初診患者さん全てが地域の医療施設からのご紹介です。ここでは、かかりつけ医の皆さまからうかがった、様々なご意見をご紹介します。

小国皮フ科医院



皮膚疾患全般の診療をされている小国 隆先生のクリニックを訪れました。当院形成外科に皮膚腫瘍（良性、悪性）症例を多く紹介していただいています。お子さんにもやさしくしっかりと診てくださると評判の先生にお話しを伺ってきました。

診療で心がけていることを教えてください。

「治る病気は早く治し、治ったからもうこなくていいよって言えるように心がけています。」と大きな声で豪快におっしゃられていました。同行した連携室の師長も小国 隆先生が開業されて間もないころに診ていただき「治ったらもう来なくていいよ」と言われたそうです。

この場所に開業されたきっかけを教えてください。

「開業して19年になります。松山は研修医が終了した昭和57年から3年間愛媛県立中央病院皮膚科で多くの重症熱傷治療を行った後に徳島大学皮膚科に帰りました。その後香川県と唐津(九州)の関連病院へ出向した後に開業しようと考えました。」先生の実家は香川ですが、奥さんの故郷の松山での開業を決められたとのこと。その頃はまだ松山インターが建設中でしたが、将来発展するだろうと思いこの地を選ばれたそうです。

当院への要望は

「いつ受診できるかわからない患者には、紹介状を持たせていますので当日の予約なし受診でも診てやってください」とのことでした。当日受診の

患者さんもできるだけお待たせすることのないように取り組みますとお返事しました。

現在はまっているご趣味はありますか？

先生のご趣味はと伺ったところ、鮎釣りをご趣味で「愛媛県では面河川(御三戸)で釣りをしますがこの鮎が美味しいです。また九州の球磨川にも年に何度も出かけますがこの鮎もそうとう美味しいですよ。」と楽しそうに熱弁されていました。車での移動は長時間でも苦にならないとのこと。九州はもちろん、遠くは青森の竜飛岬まで行ってきたそうです。さすがに北海道へは行ってないとのことでした。

最後に医院の玄関で一緒にお写真を撮らせていただきました。楽しいお話しを聞かせていただきありがとうございました。今後とも宜しくお願いいたします。

(外来部長 河村 進)



小国皮フ科医院 小国 隆 院長(右)
外来部長 河村 進(左)

小国皮フ科医院

- 住 所：〒791-1113 愛媛県松山市森松町946-3
- 電 話：089-905-1182
- 診療科目：皮膚科
- 休 診 日：木曜/日曜/祝祭日



	月	火	水	木	金	土	日	祝
9:00~12:00	○	○	○	—	○	—	—	—
9:00~14:00	—	—	—	—	—	○	—	—
14:30~18:30	○	○	○	—	○	—	—	—

友愛医院



今回は、四国がんセンターから近い友愛医院の亀井敏光院長先生を訪問しました。

亀井敏光先生は生粋の松山生まれ松山育ち、昭和57年自治医科大学卒です。県内の山間部・島嶼部で地域医療にたずさわり、義父母の友愛医院を手伝う形で平成3年に開業されたそうです。以

来、「全人的・包括的・継続的に地域医療に尽くしたい」をモットーに、通院困難な状態であれば在宅医療まで関わられてきました。特に在宅医療に関しては20年以上にわたり、人工呼吸器装着の小児の在宅医療には松山でまだ誰も対応できなかった時代から取り組まれたそうです。今も松山市医師会の松山市在宅医療支援センターの運営を指導されています。第6回四国在宅医療推進フォーラム「市民目線の在宅医療」(平成28年2月20日午後5時から、松山市市民会館中ホール)の実行委員長を担当されるそうです。この記事をお読みの皆様もぜひご参加ください。

普段の診療では、マルチスライスCTを備えるなど幅広い疾患の診断レベルを高くし、地域の総合診療医としての確・迅速に治療に結びつけることを心がけているそうです。四国がんセンターからも上部消化管の内視鏡検

査やがん治療後の継続診療について通院・在宅から入院療養までいつも快く引き受けてくださっています。日常の診療連携に感謝しつつ、今後益々のご活躍を祈念したいと思います。

このたびの訪問に際しては1日の診療終了後お疲れのところに応じてください、誠にありがとうございました。自治医科大学の精神と過疎地の医療経験に裏打ちされた総合診療医としての実力を背景に活躍されている様子が覗かれ、まさにこの地域の頼りになるかかりつけ医だなあと改めて感じました。



友愛医院 亀井 敏光 院長(右)
副院長 谷水 正人(左)

(副院長 谷水 正人)

友愛医院

- 住 所：〒791-0244 愛媛県松山市水泥町90-1
- 電 話：089-976-6262
- 診療科目：内科/胃腸内科/呼吸器内科
- 休 診 日：土曜日午後、日曜日、祝日



	月	火	水	木	金	土	日	祝
9:00~12:00	○	○	○	○	○	—	—	—
9:00~13:00	—	—	—	—	—	○	—	—
14:00~18:00	○	※	○	○	○	—	—	—

※火曜日午前11時30分まで 火曜日午後 訪問診療

呼吸器外科



呼吸器外科では肺癌を中心に縦隔腫瘍（胸部で左右の肺、心臓と、肋骨や背骨に囲まれたスペースを縦隔と言います）、胸壁の腫瘍や、薬部治療効果の

少ない肺の炎症性疾患と、当院では少ないですが気胸の手術が主に対象となる疾患です。今年10月から杉本を岩国医療センターから末久と交代で迎え、山下、澤田、上野の4人の呼吸器外科専門医で外来を担当しています。ローテーションで回るレジデントとあわせ5人で診療に当たっており、年間250件前後の手術を麻酔科の先生方の協力を得て行っており、手術の約8割が胸腔鏡手術となっています。特に肺癌手術件数は毎年約200件と全国でも有数の手術件数で、徳島・香

川・高知の西部や広島県の島嶼部からも手術を受けに來られます。

80歳を超える御高齢の患者さんも多く、最近で年間20人を超えるようになってきています。特に肺の手術では、肺切除により肺活量ははじめとする呼吸機能の低下が危惧されますが、外来受診時から、禁煙指導や呼吸訓練や気管支拡張薬などの可能な限りの手段を用いて手術を安全かつ身体への負担を少なくする方法での治療を心がけています。

しかしながら重喫煙者の方では、肺だけでなく心臓や脳血管障害を合併していることも多く、合併疾患のために全身麻酔自体の危険性が高いことが危惧される場合は呼吸器内科・外科・放射科の先生方と相談で、様々な治療を患者さんの個別の特性に合わせて行うようにしており、ほかの施設で手術困難と言われた方でもご相談ください。また、手術で病巣は完全に切り取られても、ある程度病期の進んだ肺癌では抗がん剤治療を追加することが標準になっており、特に肺癌では高度先進医療制度を用いた臨床試験に四国で唯一参加し患者さんに最新の治療を受けていただけるよう努めています。

（統括診療部長 山下 素弘）

「患者の言い分、 医者への言い分」



優雅な生活だなあ

先生、来週からカナダへいくんですよ…

おばあちゃん、年に何回もお友達と旅行に出かけます。九州あり、北海道あり、東北あり、海外へも時々出かけます。『来週は山陰へ蟹を食べに行くんですよ』『そんなにいるんなところへ行っていたらお金がかかってたいへんでしょう』『保険金が毎月たくさんおられるんで使わんといかんのよ』『えっ？…』なんでも、若い頃には商売が順調だったらしく、おつきあいで生命保険にたくさん入っていたのが、今になって払い戻されているらしいのです。額を聞いて驚いたのですが…皆さんには内緒です(*^_^*)。

もうひとりいます!

まだいらっしゃいますよ。この方、やはりバブルの頃に生命保険をたくさんかけていて、今その払戻金をどうやって使おうかと思案しているのだそうです。この方は、仲の良い雀友と日本中を駆け巡っています。その間に、外来へ来る感覚ですね(ちよっとおおげさかな…)。外来では、波照間島へ行って釣りが面白かったとか、芋焼酎がうまかったとか、うらやましい話で持ちきりです。

私も海外へ

われわれも出張でいるんなところへ出かけますが、仕事ありきなので残念ながら優雅なものではありません。ところで、私がアメリカへ「行きかけた」お話をします。3歳の時のことです。一末遂に終わりましたが…

以前書いたと思いますが、毘沙門坂のロープウェイ乗り場の前に私の生家がありました。まだ、あの坂も舗装されていませんでしたが、車もほとんど通らず、砂ぼこりが舞った記憶はありませんね。もともと、各家庭がしょっちゅう道路に水撒きをしていたので、その

おかげかもしれません。子供の頃の遊び場とは言えば、お城山と、家の前にあった「ドレメの坂」でした。(なぜ、そう言っていたのかわかりません。坂の上に学校があったような。今の東雲中学・高等学校の前身でしょうか)そこを三輪車で猛スピードで?こいでおるのが楽しかったのです。こけるのは日常茶飯事でしたが、一度は上唇を切って、日赤で縫ってもらった記憶があります。けっこう血が出たなあ…今でも名残があります。当時の一番の遠出は、三越の前の電停のところまで三輪車をこいでいった(らしい)ことです。そのことは覚えていないのですが、後日の両親の話では、三越の前で、迷子になって泣いていたところを保護されたらしいのです。たまたま近所の人が出て、「おう、栗田さんとこの坊主じゃ」のひと言で大事にはならなかったとのこと。警察官が自宅まで連れてきてくれたそうですが、泣きながら「アメリカへ行くんじや!」と言っていたとのこと。日本広しといえども、三輪車でアメリカ行きをトライする輩はほかにはいないでしょうね。でも、ああ、恥ずかし…

でも、われわれとは言えば…

話を元に戻しましょう。お二人は、バブルの頃にお仕事をしていて、儲かったお金を未来へ「投資」していたのですね。先見の明があったんだなあ!(^_^)!

今、年金額が減らされる傾向にありますね。また、支給開始年齢も引き上げられています。政府は一億総活躍社会を作るなんて言っていますが、裏には働く年齢を上げて、年金への支出を抑えて税金収入を増やしたい意図が見え隠れしますね。ひねた見方かな(^_^;)。

でも、働くことを生き甲斐にしている方は確かに多いと思います。私が医者になった40年前よりははるかに多いですね。

二人に一人ががんになる社会です。この気概をくじかないためにも私たちががんセンターのスタッフは頑張っているのです。皆さん、頑張りましょう!そして、われわれが応援しています。

最後に

曝露しましょう!お二人の共通点は、相方は連れて行かない点です(*^_^*)

(院長 栗田 啓)

ハイ!一句 がんセンター 俳句ポスト



特選 獅子舞の頭をとれば女の子

(不明)

映像を見事に描写した一句。下五「女の子」の出現が実に鮮やか。機敏で激しい獅子の動きに、女の子だなんて思いもよらなかった、作者の驚きなのでしょう。その作者の驚きに、読者も同じように共感します。

特選 病室の窓からひかり神渡

(男性・70歳)

病室の窓から見たのは、実際は何の光かは分かりませんが、随分神々しい光だったにちがいありません。神渡(かみわたし)という季語を取り合わせた作者のお気持ちが拝察できますし、この季語のおかげでドラマチックな一句となりました。神渡とは、旧暦十月(神無月)に吹く風のこと、出雲大社に参集する諸国の神々を送る風とされます。

入選 病得て部屋の窓から初時雨

(男性・72歳)

冬の雨はどうしても暗く重たい雰囲気なのですが、この初時雨は明るく軽やかに感じます。病を【得る】、初時雨の【初】の字から、プラスのイメージが生まれるからですね。きっと作者はプラス思考の性格なのでしょう。

入選 めいめいの菓談義をお十夜に

(女性・56歳)

どんな菓を飲んでいる、私はこんなにたくさん飲んでいる、などなど菓談義に花を咲かせるメンバー、そのメンバーが集まっているのがお十夜(じゅうや)の場所というのがまた。お十夜とは、主として浄土宗の寺院で行われる十日十夜の念仏法要のことで、冬の季語です。

入選 退院し我より高き冬構

(不明)

退院してみると、家はすっかり冬支度に。その冬構(ふゆがまえ)が、自分の背丈よりも随分高く仕上がっているような。闘病で空けていた時間と、季節の移り変わり、退院後の少し小さくなったような自分と。ゆっくり回復していきましょう。

入選 病室の菓そのま暮れの秋

(不明)

今回、季語の力を信じ、ご自身の思いを季語に込めている句が多く、読み応えがありました。この句などもそうです。【秋の暮】ではなく、【暮れの秋】、ということは、一日の終わりではなく、秋の終わり、晩秋と言う意味。菓の量はずっとそのままに、暮れの秋を迎えようとしています。ままたまらない作者の思いがぐっと胸に迫る一句です。

選者:三瀬あき(100年俳句計画いつき組)



皆さんの「一句」募集中!!

患者さんのご要望で生まれた四国がんセンターの俳句ポスト、「ハイ!一句ポスト」。大変ご好評をいただいております。設置場所は、各階エレベーター前、図書コーナー、総合案内、支援センター「向日葵」で、作品は随時募集中です。選句は、毎月当コーナーに掲載させていただきます。患者さん、ご家族、面会の方、職員、どなたでも気軽に投稿ください。皆さんの「自慢の一句」「楽しい一句」をお待ちしております。



お知らせ

いつも四国がんセンターニュースをご愛読頂きありがとうございます。ニュースの定期発送をご希望の方は、広報活動委員までご連絡ください。

■ご連絡方法… ●電話:089-999-1111(代表) ●FAX:089-999-1100

なお、既に定期発送させて頂いている方で、発送が必要でない場合はご一報頂きますようお願い申し上げます。

ご意見箱設置



当院では、中央待合ホールや各病棟にご意見箱を設置しております。皆さんからいただいた当院への貴重なご意見、ご感想は職員一同、真摯に受け止め、患者さんの立場に立った、よりよい療養生活、療養環境に貢献できますよう改善に努めて参りたいと考えております。今後とも当院に対するご意見等がございましたらご遠慮なくお寄せください。(氏名・病棟名は無記名でも結構です。)

皆さんからのご意見、ご感想に対する回答は、2階患者さん用エレベーター横の掲示板に掲示させていただきます。

標語の紹介

- 1月 私の元気は あなたの笑顔から
- 2月 あいさつは 心の豊かさ示すバロメーター
- 3月 患者さんへの思いやり まずは笑顔と身だしなみ

1日平均患者数

	26年度	27年度(4月~11月末)
入院	305.1	311.4
外来	512.5	503.2

手術・化学療法・PET-CT件数 ※ ()内は1日平均件数

	26年度	27年度(4月~11月末)
手術	2,316 (9.5)	1,498 (9.2)
外来化学療法	9,112 (37.3)	6,007 (36.9)
PET-CT	4,518 (18.5)	3,120 (19.1)

ご意見、ご感想等ありましたら、広報活動委員までお寄せください。

■広報活動委員…谷水 正人(委員長)・山本 美二・石井 浩・山下 素弘・井尻 昭・伊藤 真之・玉井 健一・森本 武光・高市 瑞穂(ボランティア)

当院は予約制を行っており、予約患者さんを優先しております

診療科		月	火	水	木	金	
消化器	内科	食道・胃・大腸	梶原(化) 西出(内)	仁科(化)	仁科(化) 堀(内)	梶原(化) 松本(化)	
		肝・胆・膵	瀬野	浅木	石井		瀬野 上杉
	外科	食道・胃	栗田 小林	羽藤 落合		野崎 小嶋	★落合
		大腸					
呼吸器	内科	肝・胆・膵		大田	榎田		
		内科新患	北島	野上	野上	上月 北島	原田
	外科	上月 山下	原田 澤田		山島 山下	上野	
	予禁煙外来				○上野		
緩和ケア・精神腫瘍科		三好(緩和) 大中(緩和/第4週)	谷水(緩和)	成本(緩和)	落合(緩和・精神)	成本(緩和)	
泌尿器科		○橋根		橋根		○井出	
		○中島		○二宮		○二宮	
		○細川		○細川		○中島 予橋根	
血液腫瘍内科 感染症・腫瘍内科			吉田		吉田		
婦人科		○濱田			○濱田		
		竹原 横山 小松	大亀	竹原 白山 小松	大亀	白山 横山 大亀	
		青儀 高嶋	高橋 大住	高橋 高橋	青儀 清藤	△清藤 大住	
				原(化)		原(化)	
形成外科	○河村	○時吉	○河村		○時吉		
頭頸科 (耳鼻咽喉科)		門田 橋本 花川	○担当医	門田 松本 花川	○担当医	橋本 松本	
		○杉原 中田		○杉原 中田	△杉原	○杉原 中田	
		菅原	桐山	清水	菅原	細川	
放射線	診断科	片岡/上津	片岡/上津	上津/西川	西川/上津	西川	
		西川	西川	片岡	片岡	★片岡/★上津 ☆上津/☆片岡	
	治療科						
予ストーマ外来			落合	橋根	小嶋		
予リンパ浮腫外来			○河村			△清藤 △時吉 リンパ浮腫ケア(自費)	
リンパ浮腫ケア外来			リンパ浮腫ケア(自費)				
予麻酔/疼痛外来						予首藤	
予セカンドオピニオン	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医	
家族性腫瘍(がん)相談室	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医	
がん看護外来	がん看護外来	がん看護外来	がん看護外来	がん看護外来	がん看護外来	がん看護外来	
がんドック	酒井	高橋	酒井	高橋	酒井	酒井	
内視鏡生理検査			治療内視鏡	梶原	堀	松本	
		堀	治療内視鏡	西出	西出	堀	
			治療内視鏡			西出	

予…予約のみ ○…午前のみ △…午後のみ ★…奇数週 ☆…偶数週 (化)…化学療法担当 (内)…内視鏡治療担当
※診療担当は変更する場合がありますので、事前にご確認ください。



「お花屋さんにて」今治市 撮影:高市 瑞穂

外来診療一覧表

- 新患受付時間 7:30~12:00
- 診療時間 8:30~17:15
- 休診日:土・日・祝日及び年末年始

担当医は変更となる場合がありますのでご了承ください

四国がんセンター概要

〒791-0280
愛媛県松山市南梅本町甲160
TEL:089-999-1111
FAX:089-999-1100
http://www.shikoku-cc.go.jp/

環境

「いで湯と城と文学の街」ここ愛媛の松山はノスタルジックあふれる城下町。当院はこの城下町の南東に位置し、東に霊峰石鎚、北に道後温泉、西に伊予灘を望み、自然に恵まれた最高の療養環境に立地しています。交通機関も伊予鉄巡回バスの運行など便を増やすことで来院も便利になりました。今後も患者さんの視点に立った細かな配慮を心がけ、西日本を代表する「がん専門病院」として精進いたします。

診療内容

- | | |
|-------------|------------|
| 呼吸器内科 | 乳腺外科 |
| 呼吸器外科 | 婦人科 |
| 消化器内科 | 頭頸科 |
| 消化器外科 | 整形外科 |
| 精神腫瘍科 | 形成外科 |
| 緩和ケア内科 | リハビリテーション科 |
| ストーマ外来 | リンパ浮腫 |
| 禁煙外来 | 放射線診断科 |
| 泌尿器科 | 放射線治療科 |
| 血液腫瘍内科 | 病理診断科 |
| 感染症・腫瘍内科 | 歯科 |
| セカンドオピニオン | 麻酔科 |
| 家族性腫瘍(がん)相談 | がんドック |
| がん看護外来 | |

病床数 405床

TRAFIC ACCESS 交通のご案内



車でのお越しの場合

- 車
- 松山空港から車で 約45分
 - JR松山駅から車で 約30分
 - 松山市駅から車で 約25分
- 松山自動車道
- 松山インターから車で 約20分
 - 川内インターから車で 約20分

電車・バスでお越しの場合

